

☆ 世 界

**綿 花** 2014/15 年 期末在庫、記録的数字に

ICAC(国際綿花諮問委員会)によると、2014/15 年の世界の綿花の期末在庫は前年比 11%増の 2200 万トと見込まれる。中国の期末在庫は 1200 万ト超で横ばい、これは世界全体の 56%。中国以外での期末在庫は、2 期連続増加の 950 万ト。これは過去 35 年で最高であり、2014/15 年ミル消費の 60%に相当すると見込まれている。生産量と消費量のギャップは縮小しているが、2014/15 年の生産量は消費量を 210 万ト超えると予想される。

中国での生産量は前年比 7%減の 640 万トの見込み。生産量は減少しているものの、過去4期にわたり消費量も減少していることから、需要の 80%~90%を満たしている。しかしながら国内生産の多くが中国の国家備蓄となっていることと、紡績企業が輸入綿花に依存しているため、国際綿花価格は上昇し続けている。2014/15 年、中国は備蓄政策を終わらせ、WTO の規定に基づき輸入制限措置を行うと今年になって表明した。

世界第 3 位の輸入国トルコでは、中国と同様 2014/15 年の輸入量は減少すると見込まれている。トルコでの消費量は 4%減の 130 万ト。設備の老朽化した綿紡績が閉鎖されていることや、値段の安い合成繊維により綿花市場がさらに縮小しているのが原因である。輸入は前年比 13%減の 76 万 1 千トと見込まれ、これは国内生産の増加が原因。国内生産は 11%増の 84 万 7 千ト。

パキスタンでは作付面積の 4%減少と洪水被害にもかかわらず、生産量は前年比 11%増の 230 万トと見込まれ、さらに 1 ヘクタール当たりの生産量は 15%増。輸入は 9%減の 36 万 7 千トの見込み。国内需要は現状の国内生産と長綿の輸入で満たすものと見込まれている。

世界最大の輸出国、米国は中国とトルコの輸入減少に影響を受けている。2014/15 年米国の生産量は前年比 25%増の 350 万ト、輸出は 2%増の 230 万トと見込まれており、高品質綿花への需要がわずかに輸出減をくいとめている。結果、米国の期末在庫は 58%増の 100 万ト超の見込み。

世界第 2 の輸出国インドでは、生産量 680 万トの見込みだが今期の輸出量は大幅に減少の見通し。消費量は前年比 4%増の 520 万トにとどまるため、インドの 2014/15 年期末在庫は 40%増の 240 万トとなる見込み。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2013/14	2014/15	2015/16
生産	26.28	26.36	24.41
消費	23.50	24.22	24.66
輸入	8.74	7.40	7.81
輸出	8.86	7.40	7.81
期末在庫	19.53	21.67	21.41
価格*	91	68	

Cotlook A インデックス(セント/ポンド) 価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通し等をもとに推計した。

## ☆トルコ

### 化繊設備

#### Aditya Birla、レーヨン工場の建設を延期へ

インドの Aditya Birla Group は、5.1 億ドルを投じて計画中のレーヨン短繊維工場の建設時期の延期を決定した。トルコは世界第4位のレーヨン短繊維消費国であり、Aditya Birla は、Adana Organised Industrial Zone (工業団地)内に年産 18 万トンの工場を建設する予定であった。

同社によると、レーヨン短繊維の需要は世界的に上昇基調にあるが、中国の生産過剰から利益が出にくい傾向が続いている。Birla によると、レーヨン市況は現在混乱しており、中国の生産能力過剰によって計画の開始に遅れが生じていると述べている。同社は、2011 年 12 月、トルコ初のレーヨン短繊維工場を建設する計画を発表、製品は、内需向けが中心であるが、約 20%を EU や近隣諸国に輸出することも視野に入れていた。

なお、Birla と並ぶ世界の 2 大レーヨンメーカーのひとつであるオーストリアの Lenzing Group も、中国の過剰生産能力の影響から、2014 年 12 月末、市場の状態が改善するまで生産能力拡大プロジェクトを見送る方向を打ち出した。

以上